

1: そらLab キックオフ講演会

6/28 土曜日
13:00 - 16:30

会場
名古屋大学 NIC1 階
Idea Stoa

第一線で活躍する起業家などをゲストスピーカーとして招き、宇宙分野や起業、クリエイションについて講演を実施。
会場参加の方を対象に、ウォーミングアップワークショップも予定しています。

<GUEST TALK> ※予定



株式会社ダイモン
代表取締役
中島 紳一郎 氏



発明家
カズヤシバタ 氏



名古屋大学工学部機械・航空宇宙工学科 4 年
山本 大凱 氏

<VIDEO LETTER>

宇宙飛行士・日本宇宙少年団 (YAC) 理事長
山崎 直子 氏

仮説検証ワークショップ 参加エントリー

チーム課題の提出をもってエントリーとなります。提出いただいたチーム課題により、仮説検証ワークショップの参加チームを選出します。
※キックオフ講演会に参加していないチームも応募可能です。

- ・チーム(原則 4 名)応募
- ・選考で 8 チーム程度(うち名古屋市外の高校は 2 チーム以内)
- ・チーム課題は、そら Lab キックオフ講演会後に web に掲載
※キックオフ講演会では、プログラム全体の概要やチーム課題についても紹介
- ・課題相談会 7/12(土)13:00 ~ 17:00 @IdeaStoa ※事前予約制

課題提出期間 7/13(日) - 7/17(木)

2: 仮説検証ワークショップ

「アイデアを実現！」

課題選考により選出された各チームがアイデア実現および仮説検証のプロジェクトを発足。ビジネスの視点を学びながら、各チームメンターと共に約 1 ヶ月間、成層圏への検証モジュール(検証したい物を既定のフレーム内に収めた物)を製作。中間報告を経て 9 月の公開審査会に挑みます。

1st WS
7/31 (木)
KICK OFF

2nd WS
8/21 (木)
中間報告

Final WS
9/6 (土)
公開審査会

いずれの日程も 13:00 ~ 17:00 @IdeaStoa を予定

3: フライトオペレーション

「成層圏へ TAKE OFF!!」

公開審査会で選出された優れた企画によるモジュールを専門チームが成層圏へと送り出します。
(フライトオペレーションは 10 月を予定)



4: 海外視察

「優秀チームは海外へ！」

優秀 2 チーム(最大 8 名まで、うち名古屋市外在学かつ在住者は 4 名まで)は、最先端の研究・技術に直接触れられる海外視察に参加できます。※自己負担 5 万円/人



そらLabの未来へ

君なら何を飛ぶかな?

参加費無料

申込締切は 6/27(金)

※先着順のため、定員に達し次第、締切前でも受付を終了する場合があります。

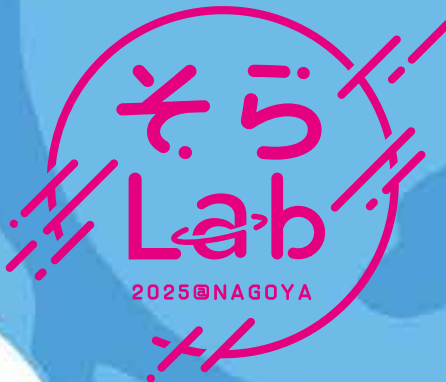


6/28 土曜日
13:00-16:30

会場
名古屋大学 (オンライン参加も可)
ナショナル・イノベーション・コンプレックス (NIC) 1 階
Idea Stoa

定員
会場参加: 先着 60 名(高校生・高専生限定)
オンライン参加: 先着 100 名(保護者・教職員等も参加可)

宇宙の専門知識はなくても OK! 「好き」や「知りたい」からはじめよう



そらLab
キックオフ
講演会
起業家人材育成事業
高校生リーダー育成プログラム





成層圏に挑戦する



宇宙で染め物を作る
Team: Maroon Grampus

旭丘高等学校

伝統産業と最先端の宇宙を融合させた取り組みとして、有松絞りの技法を用い、成層圏で多彩な染料による模様を描く実験を実施しました。この実験で生まれた独特の模様を活用した衣服の販売等、次のステップにも取り組んでいます。



— 成層圏を舞台に、新しい価値を生み出せ —

高校生が自らアイデアを考え、仮説を立て、設計し、実装する「成層圏チャレンジ」。気温マイナス70℃、気圧ほぼゼロという過酷な環境へ、商品やサービス、そしてコンセプトそのものを実際に打ち上げて検証できる、究極の実験プロジェクトです。大学生メンターと、数多くの成層圏打ち上げ・撮影に成功してきた専門チーム「GOCCO.」が挑戦を全面サポート。

さあ、空のその先へ——君なら何を飛ばす？



成層圏アート
Team: 宇宙美術館

名古屋大学教育学部附属高等学校

成層圏での偶然性を活かしたアート表現。素材や描画実験を重ね、装置の工夫に取り組みしました。

星に願いを
Team: ユニバースパズル

名古屋大学教育学部附属高等学校

星をイメージしたオーナメントを成層圏に打ち上げ、太陽光で光らせる実験を実施しました。

現実世界にSFを！
Team: SKY

千種高等学校

多治見西高等学校

旭丘高等学校

愛知総合工科高等学校

宇宙を舞台にした映像制作に取り組み、発光実験や機体動作の再現など多角的な挑戦を行いました。

2022年度優勝チーム

宇宙梅

Team: 電気電子研究会

岐南工業高等学校

梅干しを成層圏に打ち上げ、食品の宇宙環境下での安全性や耐久性を検証する実験を実施。機材トラブルはあったものの、梅干しは無事回収され、衛生状態も良好でした。今後は地域資源との連携による展開が期待できる結果となりました。

